

みんなで語る会報告書

- 開催日時 : 平成29年11月10日(金)(19時00分~20時30分)
- 開催場所 : 徳光公民館
- 参加者数 : 【市民】36人【市職員】市長ほか11人【総計】48人

○ 会次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 市職員自己紹介
- 4 意見交換
- 5 地域代表あいさつ
- 6 閉会

○ 意見交換の内容

【市民】

山川利永西村の保安林が崩れているが、復旧の目処は。

<農政部長>

市道本町海岸線沿いの山腹が崩壊している。仮復旧の状態であるが、県と治山事業を活用して整備ができないか、協議中である。今後も継続して復旧について要請したい。

【市民】

市道児ヶ水漁港線が複数箇所崩土しているが、対策は。

<農政部長>

フラワーパーク側2箇所、海岸側1箇所について崩土を確認し、土のうでの応急処置をしている状況であるが、今年9月の補正予算において復旧費を計上し、土地管理者の鹿児島県と協議し、復旧を実施する予定である。

【市民】

水道水の異臭について、現状と対策は。

<水道課長>

原因は高温少雨、また、鰻池の低層部が貧酸素状態になり、藍藻類と放線菌が繁殖し、それらが死滅する際にかび臭のもとであるジェオスミンという物質が生成され、水道水からその臭いがするというものである。そのジェオスミン自体に健康被害の心配はない。

対策として、活性炭による臭いの吸着を図っているが、臭いの除去が上手くいっていない。今後、水道施設を建設し、この対策を実施する予定である。

また、環境政策課と連携し、原因の改善策を模索していきたい。

【市民】

水道水の異臭について、原因はしっかりと調査しているのか。

また、水質検査は適切に実施されているのか。安全性を保障できるのか。

<副市長>

来年1年かけて水質調査、水温調査を複数回実施し、そのデータを収集する。

また、湖沼の堆積物についても調査する予定である。

<水道課長>

水道水の51項目の検査については年1回、時期の変化によって大きく変化するもの(21項目+ α)については3カ月に1回、大腸菌等直接人体へ影響を及ぼすものについては毎月実施をしている。今回、ジェオスミンが検出されたことによって、通常夏季にしか行わない検査も現在、実施している。

<市長>

私も臭いを確認し、すぐに鰻池の現地も確認した。すぐに対応するよう命じたが、なかなか臭いが取れない状況であり、皆様にはご不便をかけて非常に申し訳なく思っている。これについては抜本的な解決をして、このようなことがないように努めていきたい。

検査については見直し等を含め、検討したい。

【市民】

道の駅いぶすきが先日、来場者1,000万人突破とのことであったが、活お海道の賑わい創出のため、ヘルシーランド等と連携した企画を考えてみてはどうか。

<産業振興部長>

活お海道の来場者は、年間30万~40万人程度で推移している。

ヘルシーランドとの連携企画については、指定管理者と協議をしたい。

<市長>

指定管理者がいるため、私の一存では決められないが、可能ならばそのアイデアを実施したいと思う。

【市民】

COCCOはしむれに西郷どん館を設置しているが、COCCOはしむれの案内看板は設置しているか。

<産業振興部長>

国道にCOCCOはしむれの案内看板を設置している。

西郷どん館については、2階の企画展が10月14日にオープンし、1月12日からは1階にドラマ館がオープンする予定である。

<市長>

たくさんの方に来ていただけたらと思うので、看板の設置は検討したい。

【市民】

徳光バス停に長いベンチを設置してほしい。

<市長>

現場を確認し、検討したい。

【市民】

外国人実習生の住居対策について、地域の空き家を市が借上げる等、空き家対策とリンクできないか。

<市長>

これについては、ぜひ、やりたいと思っている。空き家を提供してくれるようなところがあれば、市へ情報提供をお願いしたい。働き手不足に陥る前に対策を講じたい。

<総務部参与>

地域が中心となって、地域がその間に立つモデル地区をいくつかつくりたいと思っている。

【市民】

小規模公共交通機関（デマンド交通）の充実について。

<市長>

地域の方々が交通弱者にならないような施策を講じたい。

イッシーバスに約2,000万円を使っている。今後、どのような形がよいか検討したい。

平成32年度に運用開始予定であるが、例えば徳光地区に試験的に導入して、効果を検証する手もあると思う。

<産業振興部長>

市では、デマンド交通について先進地視察を実施し、検討している。

一つの例として、中心地と郊外とをタクシーを利用した交通網の整備を計画している。平成32年度から運用ができればと思っている。

【市民】

総合振興計画に記載されている、地域企業応援センター（仮称）の取り組み状況は。

<市長>

地域で起業する人を応援できる体制を整えたいと思う。企業が元気になることが、人口減少の歯止めになると思っている。

<産業振興部長>

事業者向けの店舗リフォーム、担い手育成、職業マッチング、高校生向けの企業ガイダンス等の事業を実施している。

担当は商工水産課であるから、不明な点は相談していただきたい。

【市民】

公共施設のFree Wi-Fiの整備について

<市長>

これから、外国人観光客を受け入れるためにはWi-Fiが必要だろうと思う。これについては、いろいろな所で充実させていきたいと考えている。

<産業振興部長>

主要な箇所にはNTT回線を利用したものを整備している。現在、鰻地区の整備を検討している。

【市民】

西郷どん放映に伴い、新たな観光地の整備も必要であるが、既存の観光地に対する手入れをお願いしたい。

<市長>

長崎鼻は駐車場整備を含めて、手を入れないといけない。車椅子でも岬の方まで降りられるようにしないといけない。これについてはもう一度、商店街の方々と話をしたいと思っている。

【市民】

開聞岳の松枯れについて、代わりの植栽をしたらどうか。

<市長>:

「松が紅葉している」と皮肉を言われる。このことについては、本当に申しわけなく思っている。試験的に、開聞山麓に椿を千本植えた。

松くい虫対策は、非常に厳しいものがある。

【市民】

観光客と住民の利便性を考慮した施策をお願いしたい。

<市長>

観光は二極ないといけないと思っている。一つは摺ヶ浜地区、そしてもう一つはたまたま箱温泉・フラワーパーク・長崎鼻と開聞岳を含めたこの一帯であると考えている。

観光客は、日本古来の文化、生活に触れたいという考えに変わってきている。

【市民】

なのはな館の今後の運用について、教えていただきたい。

<総務部参与>

現在、本館等の補修工事を実施しており、本年度中に工事完了の予定である。来年4月からは、会議室等も使用可能になる予定である。

市民会館の建設場所については、現在、検討中である。

<市長>

知恵を出して、上手く使わないといけないだろうと思う。皆さんがよかったと思ってもらえるような、なのはな館にしたいと思う。

【市民】

農業従事者の後継者不足に対し、何らかの対策をお願いしたい。

<農政部長>

農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加については、非常に大きな問題であると認識している。現在、年間30名弱の新規就農者がいる。

<市長>

農業は絶やしてはいけない。山川、開聞地域は、全国に誇る畑作地帯であるので、大切にしていきたい。

